



# 杉谷ひろば

杉谷さんとともにまちを創る会  
2012年11月1日発行

向日市寺戸町辰巳4-1-101号  
杉谷ひろば(連絡先は頁下)

No.21

市民参加でまちを変えよう！ ホームページ：<http://sugi.pupu.jp/>

## 来年度予算要求 10/23 市長に提出 議会改革 市民の知る権利の保障を



杉谷伸夫・57才  
向日市議会議員・市民クラブ  
上植野町イトピア在住

この1年間、毎月1回「市民参加のまちづくりの会」「議会報告会」を積み重ね、市民の皆さんと一緒に考えてきた私たちの要求(=まちづくりの提案)を、同じ市民クラブの飛鳥井議員と調整して「市民クラブの予算要求書」としてまとめ、10月23日に久嶋務・向日市長に提出してきました(2面に要求書の一部掲載)。

一方、市民にとって存在感の薄い議会の改革は、待ったなしです。現在、議会で、「議会報告会の開催」、「インターネットによる議会の中継・録画配信」等の実現にむけ奮闘しています(2面参照)。

行政に対しても、議会に対しても、市民の皆さんの直接の声を届けることがますます重要になっています。市民の知る権利を広げ、市民が主役のまちにしていけるため、頑張ります。

### 市民の皆さんの声

10/14市民参加でまちをつくる会他より

- 向日市の歴史的文化的文化財を大切にすべきだ。観光資源としても価値がある。もっと生かしてあげるはず。向日市はその点がヘタだと思う。
- 長岡京市には観光案内所がある。向日市にもあればいいと思う。
- 保育所の耐震工事を求める請願が、なぜ否決されたのでしょうか。理由が知りたい。結果だけでなく、なぜなのかをこの会報でも伝えてほしい。その他にも9月議会では、多くのことが9対10の僅差で否決されているようだ。何とか知恵を絞って逆転をめざしてほしい。
- 議会の様子、杉谷さんのニュースで拝見していますが、やはり議員の僅かな数で負けてしまうんですね。結果を最終的には多数決で決めるとはいえ、市民の意見を汲んで決める過程でしつ

かり議論されていけばまだ納得がいくのかもしれませんが、今の議会はそうではないんですね、悲しいことに。

- 議員の一般質問に対する市長側の答弁が長すぎて、再質問の時間がなくなって終わってしまう場合がよくある。答弁の時間制約のルールを設けるべきではないでしょうか。
- 議会に傍聴に行ったけど、議員の姿が全く見えない。ナンセンス。議場の改造をすべきだ。できれば議場をフラットフロアにして、傍聴席を議員と同じフロアに設けるのが望ましい。
- 議場の改造など、形を変えることから議会改革が始まると思います。

### 11/10 市民参加でまちをつくる会

- 日時：11月10日(土)午前10時～12時
- 場所：杉谷ひろば(向陽幼稚園斜め向かい)  
※どなたも参加歓迎  
(問合せ：090-8384-5984 杉谷)



#### 連絡先

TEL 090-8384-5984(携帯) FAX 075-932-1325  
メール [peace@fa2.so-net.ne.jp](mailto:peace@fa2.so-net.ne.jp) ホームページ <http://sugi.pupu.jp/>

# 来年度予算要求書

## 実現をめざします



10月23日、市民クラブとして久嶋務・向日市長に対して提出した予算要求書の一部を掲載します。向日市が市民の税金を使って、1年間どのような仕事や事業をするか、市長に対して要求（提案）したものです。 [HPに全文掲載](#)

### ★生活道路の整備・市内公共交通の改善

- 市内巡回バス事業をスタートさせる
- 生活道路や歩道の計画的な改良整備を実施し、バリアフリーを進める
- 公共性のある私道に対しては、市の責任で必要な改良・補修を行う
- 物集女街道の早急な全区間整備を行う

### ★安心して子どもを守り育てる環境づくり

- 中学校給食の実施にむけた検討を始める
- 新民間保育所の安全対策・設備面での改善と、開園以後も保育の引き継ぎに万全を期す
- 公立第2保育所の建て替え計画案を早急に公開

し、議会・市民の協力で検討を進める

- 公立保育所の耐震化事業計画を早急に立てる

### ★原発災害から市民を守る

- 保育所や学校給食の食材の放射能測定を行う
- 向日市の施設で使用する電力は、原子力発電に依存せず、かつ電気料金の削減を図る
- 地域防災計画を見直し、早急に原子力防災対策を盛り込む

### ★市民誰もが暮らしやすい環境づくり

- ゴミ収集の有料化をしない。昼間にも利用できる資源ゴミステーションを市役所・公民館・コミセン等の前に設置する
- 空き家の増加による景観・環境悪化と危険防止のため「空き家対策条例」（仮称）の検討を行う
- 市民の要望をたらい回しせず、ワンストップで相談に応じる総合相談窓口を設ける
- 障がい者が働き続けられるよう、補装具の支給制限の緩和等、現実に応じた支援をおこなう

### ★工事トラブルの損害を市民に負担転嫁しない

- 公共下水道工事での2億円損失問題に関し、すべての報告書を公開し市民に説明責任を果たす

### ★情報公開と市民参加を積極的に推進

- 行政の保有する情報は市民のものであるとの基本観点で、情報公開を積極的に進める
- 早期にまちづくりセンター（仮称）やNPO支援センターを設置する
- 平和条例を制定し、戦争に協力しない平和なまちづくりを進める

### ★向日市の未来を見据えた施策を

- 北部新市街地開発により東向日駅周辺の中心市街地が衰退しないよう、市の計画策定を

## 議会改革へ奮闘中

### 議会報告会開催へ本格準備

向日市議会には、「議会活性化特別委員会」と「競輪場対策特別委員会」の2つの特別委員会があります。各議員はいずれかに属しており、私は「議会活性化特別委員会」に所属していません（副委員長）。昨年より「議会基本条例の調査研究等」をテーマに、特別委員会で議論をしてきましたが、議会全体での「議会報告会」を来年5月に開催するべく、これから本格的な検討を行ってゆくことになりました。

10月26日の特別委員会で、検討特別班を発足させ、11月27日からの12月議会定例会中に全議員で検討する為の原案を作ることになりました。

議会報告会の目的・内容、開催場所、参加された市民の皆さんの声をどう取り上げるか、その他様々な検討が必要ですが、ぜひ議会報告会に足を運んでくださった市民の皆さんにとって「来てよかった」と思ってもらえるような報告会にしていきたいと思っています。

### 議会のネット配信もぜひ実現を！

また、議会の模様をインターネットで配信する件については、4年前の議会請願で採択された課題ですので、いつまでも放置することなく、実施時期を定めて準備にかかれるようにできればと思っています。

# 10/15-19全国市町村議会 議員研修に参加して

杉谷 伸夫

10月15日～19日、大津市にある全国市町村国際文化研修所で開催された「全国市町村議会議員研修・地方行政財政コース」に参加してきました。北は青森から南は鹿児島まで65名が参加。「自治体財政の健全化」を中心に、「地方行政をめぐる最近の動向」など多岐にわたり勉強しました。講義と議員交流で印象に残ったことを報告します。

## ①市庁舎の耐震工事費用33億円を4億円に削減 —市民との意見交流から（松坂市）

松坂市の山中光茂市長の講義では、費用33億円もの市役所本庁舎の耐震工事が決まりかけていた所、一旦ストップして市民とのシンポジウムを開

き、市民からの意見を基に見直し、新工法での見積・入札を行ったところ、何と4億円に工事費用を圧縮できた経験が話されました。「シンポジウム方式」といって、まちの施策を市民参加で検討していく手法として定着しているそうです。これこそ向日市にとって必要な姿勢です。

## ②議会だよりは議員が全部編集し、議会報告会を開催—福島県会津美里町ほか

各地の議員との情報交換も有意義でした。

向日市議会が発行している「市議会だより」は、議員自らの発言原稿を除く編集作業のほとんどは議会事務局が行い、議員はその確認・チェックをしています。しかし交流したいくつかの議会では、「議会だより」はすべて議員自ら編集していました。議会だよりを使って「議会報告会」を開催するので、各議員の賛否はもちろん、重要議案については採決結果だけでなく、賛成意見・反対意見を掲載しています。おおいに刺激を受けました。

## 11月の催しの案内

★どなたも参加歓迎します。

- 11月4日(日) 福島事故被災者との焼き肉交流会
- 10日(土) 市民参加でまちをつくる会  
(10時・杉谷ひろば)
- 17-18日 向日市まつり  
「福島事故と被災者支援」パネル展(後援)
- 24日(土) ビデオを観る会(10時・杉谷ひろば)  
「チェルノブイリ事故・汚染地帯からの報告」

## 杉谷伸夫の活動日誌（10月）

- 10月3日(水) 議会だより編集委員会
- 5日(金) 関西電力京都支店前行動・座り込み
- 7日(日) 上植野町体育大会に参加
- 10日(水) 老人クラブスポーツ大会に参加
- 13日(土) 向日市市制40周年記念式典に出席
- 14日(日) 市民参加でまちをつくる会例会
- 15日(月)～19日(金) 全国市町村議会議員研修
- 20日(土) 原発をなくす向日市民の会に参加
- 21日(日) 京都市民放射能測定所まつりに参加
- 23日(火) 市長へ来年度予算要求を提出
- 24日(水) 京都市民放射能測定所担当
- 25日(木) 手塚・枚方市議との政策交流会
- 26日(金) 議会活性化特別委員会

## 「知覧を訪ねて」

安野 洋子

15年前にも行ったことがあるが、10月21日、鹿児島県知覧町の特攻隊の地に再び訪れた。今度は出撃前の遺書をじっくり読もうと、また平和館へ行ったのだ。特攻隊全員の写真がそろい、展示物も増え、前より充実した感じがした。ただ写真と遺書の羅列の中では戦争の苦しみや痛みを感じる人がどれだけいるだろうかと思った。その人の感性で、戦争賛美とも取る人もいるのではな

いかと気になった。もう少し反戦を強調した平和館にして欲しかった。戦争で死ぬことに感動したのだろう、小泉元総理は号泣したと言う。

しかし心して遺書を読む者には、気持ちをゆさぶられるものが多く有った。「もっと完璧な飛行機で飛びたかった」—どうせ整備もしていないし、少ない燃料で犬死させたのだろう。「晴れた空を見続け小鳥になりたい」など死の前日の気持ちを痛切に感じた。母への感謝の気持ちが一番多かったのも印象に残った。全て戦争の終わる8月15日の4～5ヶ月前の突撃なので、もう少しで死ななくてよかったのに。

戦争の愚かさと戦争責任の重さを感じ、憲法9条「今こそ旬」と肝に銘じ右傾化の歯止めにならなくてはとの思いを強くした。



# 「可視化の 住民自治を」

徳本 茂孝

今、市に望むことで最初に挙げたいことは、若狭の原発の危険をゼロにしてもらいたいことです。そのため乙訓2市1町をはじめ周辺自治体とともに、国や関電に働きかけてほしい。嘉田滋賀県知事の積極的発言、山田京都府知事の脱原発への動向も注目される。市議会での答弁では、まるで他人事のように、市トップとしての責任ある発言には聞こえない。

開発行政も地域的バランスを欠き、市の将来に危機を覚えます。商業域の東向日、景観保存の西向日住宅域への市の対策が見えず、市北端の洛西口方面の業者任せの開発は、東向日商業域の犠牲の上に成り立っているようにしか映りません。景観保存では、業者への一定の規制、指導が必要です。市政がどのような方向に向いているのでしょうか、市民に見えづらく思えます。行政の可視化が大切です。

市議会2階席から議員の姿が見えない。全国珍風景に登録申請したいと皮肉りたい気持ちです。市民の代表である議員の姿と討議の様が伝

わってこそ傍聴です。文字通り議場の可視化は先行すべきです。

旧西国街道の新しいカラー舗装は、狭い道路での人と車の共存、街並みとのマッチも美しい。関わった方々に感謝申し上げたい。夕張、泉佐野の財政破綻の事例もある。関心を持ち、発言もしていきたい。私たちの見識も問われる昨今であることの自覚もしたいと思う秋です。

## 自然 散策

秋になると、私は『秋の七草』を唱えます。キキョウ・ススキ・オミナエシ…。しかし、そのうちの6つの草は実物を知っていますが、フジバカマは見たことがありませんでしたが、

先日実物を見ることができました。そして準絶滅危惧種になっていることを知りました。更に最近、小畑川で何気なくフジバカマらしき草を見つけました。本やインターネットで調べ、どうやら本当のフジバカマらしいと確信。もう一度確かめようと見に行くと数本引きちぎられた後がありました。ショックでした。(涸沢)



## 連載 ポイント解説

# 向日市の歴史

鈴木 健弘

## 第14回 長岡(5)

遷都の重大な必須条件の1つ、住民の住まいの問題がある。その中で生活に必要なもののトップは生活用水であろう。人間が生きて行くのに必要な衣食住の中では、食が最重要であるが、先ず『水』が第1位であろう。遷都の前に当然考慮されたであろうが、これについて考えると、今も我々が恩恵を受けている長岡の水には、豊

潤で清潔な水を与えてくれる地下水がある。それは長岡丘陵といわれる西山に湧く豊富な地下水である。もと寿屋としてスタートしたウイスキーの醸造元サントリーが、国内の醸造好適水を求めてついに探し当てた西山の水、この地下水を持つ乙訓の土地へ遷都したのは無関係ではないと考える。次の遷都平安京は同じく豊富な地下水を持つ。琵琶湖の水量に匹敵する地下水を持つ次の新都は、京都御所から西域の豊富なこの水を必要とする酒造り、味噌醤油、湯葉や蒲鉾造りの上(かみ)の店(上京区域)、そして錦市場の数々の、今でもつづく地下水利用の多くの老舗の現実を見ると、遷都と水の強い絆が存在していた現実を改めて思い返す。我が乙訓の地下にこんこんと湧き出づる霊水を、いとも簡単に投げつけた現在の為政者の愚を思うにつけ、長岡京の賢聖を羨むばかりである。